

自己評価及び外部評価結果

1. 事業所概要

事業所番号	1470201177	実施年度	令和3年度
法人名	メディカル・ケア・サービス株式会社		
事業所名	愛の家グループホーム横浜菅田		
所在地	(221-0864) 横浜市神奈川区菅田町 2975-75		
サービス種別	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護 <input checked="" type="checkbox"/> 介護予防認知症対応型共同生活介護	定員 18 名 ユニット数	計 18 名 2
自己評価作成日	2021年11月5日	評価結果 市町村受理日	

2. 運営推進会議開催日時・場所

日 時	R4年1月22日 16時～17時	場 所	リモート会議にて
-----	------------------	-----	----------

3. 運営推進会議メンバー

区分	委員分野・主な役職等	人 数
委員	利用者又は利用者の家族	18人
	地域住民の代表者	1人
	当該サービスに知見を有する者	2人
	市の職員又は地域包括支援センターの職員	1人
事務局	管理者	1人
	計画作成担当者	1人
	介護従業者	2人

別添3

目標達成計画

事業所名 愛の家グループホーム横浜菅田
作成日 2022年 2月 10日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	「市町村との連携」について具体的にどのようなことが不明である」とのご意見があつた。	ご家族にホームと市町村との連携がどのようなものがあるかを知って頂く。	市町村との連携の項目と内容を説明した一覧を提示させて頂き、その後発生した連携事項は都度報告する。	1ヶ月
2	27	一人一人の生活のペースや希望に沿った支援について、様々であり1日の限られた時間の中で如何に満足して頂けるか。	ご希望や意向、暮らしのペースを再アセスメントし、共同生活中でも希望や意向、ペースを大切に生活を支援する。	再アセスメント実施。小さな点でも具体的に支援内容を見出し共同生活に支障がない程度に実施する。	3ヶ月
3	36	コロナ禍により、日常的な外出支援が殆ど出来ていなかった。	コロナ禍に於いてもできる外出支援を実施し、コロナ収束後には外出支援に力を入れて行く。	既に実施しているホームの庭やホーム外周散歩。個別ドライブ（車中から景色を眺める）を継続。コロナ収束後は花見、外食、買物支援に力を入れる。	1年
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	理念bookを基に管理者、職員に配布し研修を実施。新卒、中途を問わず理念 book を配布し研修を実施。実践に向けて努力している。			中途採用者、新卒共に理念bookを基に研修を必ず実施。理念に基づいた実践ができるよう入社時だけでなくホーム内で定期的に研修と助言をしている。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス蔓延防止の観点から、ボランティアや地域住民の方の施設内への立ち入りを制限していた。	コロナ禍では致し方ないとのご意見を多くいただきました。コロナが落ち着いたらまた行ってほしいご意見をたくさん頂いた。		ご家族が地域とのつながりを望んでいることがわかる。現時点では入居者様と回覧板を一緒にお持ちしたりホーム側の落ち葉を掃くこと位はある。もっとできることを増やしていく事が目標。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍であった為、運営推進会議を活かした取り組みは消極的ではあった。報告とご家族からの意見も書面で実施していた。書面上に加え11月からリモート会議を始めた。	昨年11月、初のリモート運営推進会議を開催した。参加者の方々からは良かったとのご意見あり。ご参加できないご家族様には従来通り書面での活動報告をしている。今後は工夫し精度を上げることを目標としたい。		昨年11月には初のリモートでの運営推進会議を開催した。一部のご家族様のみの参加ではあったが良かったという意見を頂いた。それまでの書面での報告についても分かりやすいとのご意見あり。継続する方向とする。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	行政報告のみならず、運営上で分からぬことやご家族様対応など、随時、報告し相談している。	内容によっては運営推進会議で話して頂けるとありがたいとのご意見あり。		コロナ前には行政からの「介護相談員」による入居者様の相談。法改正による変更事項や新たな運営方法の相談もある。介護認定調査、防災訓練の協力、ホーム独自の取り組みの発表認知症サポートー養成講座の実施等がある。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に1回(3月)全職員に【高齢者虐待及び身体拘束について】の研修を行い、それとは別に、年に4回【虐待、身体拘束に関する研修】を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入社時には必ず研修を実施。定期的な研修。身体拘束がどのようなものかの周知と実施しない取り組み。スタッフ同士の予防できる掛け合い情報交換の徹底を今後も取り組んでいく。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に1回(3月)全職員に【高齢者虐待及び身体拘束について】の研修を行い、それとは別に、年に4回【虐待、身体拘束に関する研修】を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束防止同様、どの様な事が虐待に相当するかをしっかりと把握しスタッフ自身の行動が少しでもそれらに該当する事なき様、研修による知識と絶対に起こさないチームの目とチームコミュニケーションを継続して取り組んでいく。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている ④. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所職員に対し年に1回(2月)全職員に【プライバシー保護と権利擁護について】の研修を行っている。			【プライバシー保護と権利擁護について】の研修を継続して実施していく。
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時のみならず、契約前や契約後にも親切丁寧な説明を心がけ少しでも疑問や分からなきがあればすぐに確認していただけるように心がけている。			契約前後もご家族ご利用者への疑問を解決できるよう説明を行っている。
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている ④. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者はじめ、ケアマネジャー、介護職員、事務員が、入居者様には日常的に、ご家族様にはプランの説明時またコロナ禍に於いては頻繁に連絡を取り様々な意見を聞いている。細かいニーズにも対応し運営に反映する努力をしている。		④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	要望等を吸い上げる姿勢は継続して機会を設けたい。サービスへの要望は引き続きケアプランの更新時にアセスメントしていく。運営・活動報告も定期的に実施している。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の面談を3ヶ月毎に実施しており意見提案等を聞く機会は多くある。面談以外でも意見提案が出ればできるだけ早くに形にしている			職員からは積極的な意見交換ができる方であると思う。提案も多く、実践力もある。良い提案はすぐに実施している。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている ④. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	時間内に業務が終えられるよう業務フローを組み立てている。キャリアパス制度でも励みになっているが給与水準については意見が出る。やりがいを持てるよう研修や成功例共有、ご家族からの感謝等がやりがいにつながっている。		④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	キャリアパス制度を導入し、スキルと給与を明確化している。ケアと業務についても連携を取りながら円滑に回っている。必要な残業手当を付けている。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	キャリアパス制度に加え各種資格支援制度がある。社外研修についてはコロナ禍により一昨年から積極的には行っていない。社内研修やOJTにはかなり力を入れている。毎年新卒を受入れ教育できる事業所として指名がある。		④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	キャリアパス制度に加え各種資格支援制度があり、職員が自宅での自己研鑽できるオンライン研修がある。社外での研修については新型コロナウイルス蔓延防止の観点から今年度は消極的であった。新型コロナウイルスが収束後、行っていきたい。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている ④. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	横浜市内のグループホーム連絡会は新型コロナウイルス蔓延防止の観点から会合や勉強会などは行っていないが、地域の居宅のケアマネジャーや介護事業者の管理者、相談員の方と情報交換等行っている。			同業者との交流はコロナ禍では難しい事ですが、一部連絡会メンバーと電話での情報共有している。

14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご入居者様の「できること」に着目し、職員とご入居者様が協力しグループホームでの生活を支援している。(調理補助や掃除、庭整備等)			人生の先輩として昔話を聞いたり懐メロを教えてもらったりすることで若いスタッフは勉強になっている。
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス蔓延防止の観点から面会を自粛して頂いていた為、お電話やZoomを活用した面会を積極的に取り入れコロナ禍でもできる努力をした。	コロナ禍でできなくなった面会がZoomという形でできるようになったことの感謝を頂きました。Zoomができないご家族様にはお電話の頻度は高くなつた。友人との文通の橋渡しをした。		コロナ禍でできなくなった面会がZoomという形でできるようになったことの感謝を頂きました。Zoomができないご家族様にはお電話の頻度は高くなつた。友人との文通の橋渡しをした。
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員 17 名中 2 名の職員があまりできていないと評価をしている。ご本人の希望や意向が消極的なものである場合の支援に悩むがご本人の為のプランやご家族の意向に目を向けた支援も必要であると思う。			多くの入居者様が「外出」や自宅を心配して帰宅を希望される。自由に行き来できる環境ではない点が困難ではあるも思いの把握は日々の傾聴から共感するようにしている。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	より良く過ごすための課題とケアのあり方に関し十分な課題分析の時間を取っている。生活機能向上に関しては理学療法士の専門的な助言から介護計画が作成出来ている	往診医、訪問看護師、訪問理学療法士等、多くの専門職からの意見やアイデアを今後も頂きたい。個人のニーズに沿ったケアプランをいつも作ってくれている。家族の希望も吸い上げてくれている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍ではあるも担当者会議を行うにあたりり全ての職員、専門職、ご家族様、ご本人様が参加できるわけではないが、それぞれ意見をケアマネジャーが集約しケアプランを作成に努めています。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	記録の電子化に伴い記録に反映する点でスタッフに差が出ていたが共有すべき事項の漏れが現時点ではほぼなくなっている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に更新している細かい介護計画書から日々の気づきの記録や共有ができると感じている。という意見等を頂いた。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員 17 名中 3 名の職員があまりできていないと評価をしている。新型コロナウイルス蔓延防止の観点から外出等のニーズには対応できていない。	・ニーズに合った対応をお願いしたい。 ・コロナの状況により利用者様の希望に沿った形での外出は難しいと思います。コロナ終息後にはご利用者様の希望を踏まえた外出等の支援を再開していただきたい。		新型コロナウイルスの影響やグループホームという集団生活を行う場所で、出来ることと出来ないことがあります、可能な限り柔軟に取り組んでいきたい。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員 17 名中 5 名の職員があまりできていないと評価をしている。コロナ禍により支援が消極的ではあったが訪問医療も地域資源でありワクチン接種に関しては大事な支援であったと思う。	・ワクチン接種も地域資源の協力が全ての実施であった。 ・引き続き、自治会等との情報共有や連携により収集して活用していただければと思います。		今後ももっと地域資源を把握し入居者様にとって暮らしがさらに豊ものになるよう積極的に取り入れて行きたい。

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様の日常の体調を十分に把握した上で適切な診断と処方をして頂いている。急変時の助言や指示も24時間頂けるので頼りになる。			入居者様の状態の把握をスタッフが観察でき、気になる点は往診医に報告と適切な助言と処方がある。また往診医からご家族様へ直接連絡をして下さることもあり
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるよう、また、できるだけ早期に退院できるよう、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員 17名中 3名の職員があまりできていないと評価をしているが、病院との調整は主として管理者、ケアマネジャーで行っており協力体制にある。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院経験のないご家族様からの回答は「わからない」が多くあったが入退院支援を行ったご家族様様からは、A.充分にできているとの評価を頂きました。
23	重度化や終末期に向かう方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホームで出来る終末期の介護と病院、特養との介護(医療)の違いを説明し、今年、実際に終末期に向けた支援を行った。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居契約時に「重度化した場合の対応にかかる指針(看取りに関する指針)」の説明をきちんと行い、同意して頂いています。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変時の対応に不安を抱く事は当然であるが備えとして繰り返しての応急処置初期対応の定期的な研修の実施と準備、24時間医療機関の助言と指示の下実践力はついている。			職員の約半数が急変時の対応に不安を抱えているが、知識があっても実践出来る場面が限られているので、引き続き、研修などで少しでも不安がなくなるよう支援していく。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	消防署の協力を得て年2回の防災訓練を実施しており、避難経路、手段の把握は出来ている。訓練時には地域住民の協力も得ている。ホーム側も非常食の貯えがあり避難所として提供できる体制にあることで地域との協力体制にある。	3年前の雨台風時の2Fへの避難について運営推進会議委員から、止水版の情報を頂き購入の方向で裏議申請となる予定。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の約半数が急変時の対応に不安を抱えているが、知識があっても実践出来る場面が限られているので、引き続き、研修などで少しでも不安がなくなるよう支援していく。
III. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「報告や普段の面会の様子からもできていると思っています」とのご意見を頂く。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様に対し人生の先輩としての経緯を忘れぬ様配慮した上でご本人が適切だと思う距離感でトイレ介助等実施している。入浴もできる範囲で同性介助とされている。定期の研修を通じて引き続き、プライバシー保護に努めていく。

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自己管理が困難となった方には何をしたら良いのか混乱される前に行動パターンの選択肢をお伝えすることもある。ご本人の希望を尊重したいがコロナ禍の外出希望には応じることが出来なかった。			共同生活に於いて全てのご入居者様の要望にお応えすることは困難であるもできる範囲で良く応えている方であると感じる。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事の準備や片付け、洗い物ができる方にはお手伝いを積極的にやって頂いている。人参や玉ねぎの皮むきは常時お願いしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍によりお食事の準備を少し控えて頂き、回数を減らした。感染者が減少気味な時にはお願いしていた。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全員の水分摂取量をチェックしており不足しないように支援している。自立支援ケアを用いてたんぱく質の摂取の重要性に目を向けプロテインも提供している。			往診医による定期的な採血によりアルブミン数値の検査も行い、たんぱく質低下気味の方にはきな粉やプロテインの量で調整している。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後の口腔ケアを介助している。磨き残し等の介助も実施している。一部拒まれる方の支援が不十分な点は、歯科医による口腔ケアを依頼している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後の口腔ケアを介助している。磨き残し等の介助も実施している。一部拒まれる方の支援が不十分な点は、歯科医による口腔ケアを依頼している。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自立支援ケアを導入により牛乳摂取量を増量し下剤の減量となった。排泄のパターンを掴み尿失禁の減少につながった。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄チェック表から排尿パターンを掴み、時間を読み、トイレ誘導にて失敗なく排泄ができることが多い。それが成功する方には積極的に実施している。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそつた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共同生活をしている上で全てのご利用者様に個々の要望に沿った入浴は提供できていないが、可能な限りの時間帯(曜日)で希望を聞いている。			限られた職員の人数での個々の時間帯の要望は特に難しいが、可能な限り希望をお聞きしている。また、ゆず湯や菖蒲湯、入浴剤等の提供により喜んで下さっている。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	就寝前のゆったりとした時間が持てるよう配慮している。TV鑑賞の時間も尊重し、巡回時には近くに居る事を伝え安心して頂き、程よい空調で安眠できる様、支援している。			昼夜逆転気味な方にはできるだけ日中の活動量を多くし、夜間よく眠れるようにも支援している。

34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	命を預かる者として入居者様の処方内容は職員全員が把握できる様往診記録に詳細を記録し薬情報も確認しながら服薬時にはWチェックした後、服用して頂いている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	往診時に定期薬の変更や減量、増量があった場合はすぐにスタッフに周知しており、副作用の症状の懸念等についても注意喚起している。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	得意分野で力を発揮することで自信が付き役立っていると思えて生きる力になっていると感じるが新型コロナウイルス蔓延防止の観点から外出等の支援は出来ていなかった。	ホーム内でできるだけの支援を考えてくださっています。感謝している。とのご意見を頂きました。ドライブは車中から外を眺めるだけでも気分転換になっているご様子。	ご入居者様のADLや認知度により同様の支援は難しいが個別にペーパークラフトや編物、レクリエーション等楽しみごとの支援や気分転換をホーム内で努力している。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員17名中12名の職員があまりできていない、若しくはほとんどできていないと評価をしている。コロナ禍により外出等の支援は出来ていないが少人数でのドライブは実施していた。	コロナ禍によりほとんどできていない。	外出は難しいが写真や動画で名所巡りや、出身地巡りをやってみた結果、盛り上がった。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員17名中12名の職員があまりできていない、もしくはほとんどできていないと評価をしている。 新型コロナウイルス蔓延防止の観点から外出等お金を使うような支援は出来ていない。		新型コロナウイルス蔓延防止の観点から外出等お金を使うような支援は出来ていないが、物の値段の相場やお金の支払い方(小銭の揃え方)のゲームを作成し盛り上がった。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様に要望がある場合は、電話をしている。手紙については投函や切手購入の支援、また時に一筆箋のお便りをご家族様に送付している。		暮れにはできる方には年賀状を書いて頂いた。ご家族様には定期的にZoom面会や難しい方には電話でお話して頂いている。
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自席の他に中央にソファーを置き、時には自由に移動できる様に整えている。日当たりも良く季節を感じる花も庭に育っており至る所に生花を飾っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様が安全に移動できるよう動線の確保はできており、手すりの活用も妨げないような配慮もできていると思う。歩行に気を付けなければならぬ方も安全に自立して移動できるよう工夫している。廊下にはご入居者様たちの写真が数多く貼られており、手すりに捕まりながら安全に見て過ごせるようにできている。

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員 17 名中 6 名の職員があまりできていないと評価をしている。ケアプランの中にも本人の思い・願いを聞きプラン構成しているが伝えられない方にはスタッフ、ケアマネが思いを引出したプランであると思う。ただ外出の希望が叶えられず。			ケアプランの中にも本人の思い・願いを聞きプラン構成しているが伝えられない方にはスタッフ、ケアマネが思いを引出したプランであると思う。ただ外出の希望が叶えられず。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員 17 名中 5 名の職員があまりできていない、もしくはほとんどできていないと評価をしている。 新型コロナウイルス蔓延防止の観点から外出や面会を制限している為、友人等の対面での面会は支援できていない。			新型コロナウイルス蔓延防止の観点から外出や面会を制限している為、友人等の対面での面会は支援できていない。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者様の健康観察に心がけ体調変化がある場合やいつもと様子が違うなどの変化が見られる場合は、ご家族様(キーパーソン)、往診医などと連携し情報共有している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	健康面の観察は十分にできており、医療連携もスタッフも安心できるほどの主治医との連携、協力がされている。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩の習慣のあった方には雨天以外、出来るだけお連れしている。昼寝の習慣のあった方には昼夜逆転にならない様、時間を決めて休んで頂いている。			散歩の習慣のあった方には雨天以外、出来るだけお連れしている。昼寝の習慣のあった方には昼夜逆転にならない様、時間を決めて休んで頂いている。
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅から持参された人形や写真、仏壇等、お持ちになっている。基本的に貴重品や高価な物以外の禁止はしていない。ご本人にとって大切なものは外履きの靴でも身近に置いている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人にとって大切なものは外履きの靴でも身近に置くなどして、大切な空間として生活できるようにしている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員 17 名中 10 名の職員があまりできていない、もしくはほとんどできていないと評価をしている。コロナ禍により外出が制限されていた。	祭事に出かけることは門なんであつたが、感染者数が少なかった期間に防疫を十分に整えた上、冗長の許可のもと孫娘の結婚式に出席でき、ご本人、ご家族様が感謝して下さった。		コロナが収束した折には真っ先に取り組んでいく為の計画をしている。

46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	その方に合った達成できる役割を構成し提供している。自身の役割や楽しみをケアプランに入れて実践している。			その方に合ったレクリエーションやトレーニングは充実していると思う。役割に多少の差は出るも努力している。
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	気の合う入居者様同士で会話が弾んでいる場面が毎日ある。外出できない分、ホーム内での閑りや庭いじりに力を入れる等、職員が中に入り1日の生活の中で活動場面をつくり楽しむ事は多かった。		Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	気の合う入居者様同士で会話が弾んでいる場面が毎日ある。外出できない分、ホーム内での閑りや庭いじりに力を入れる等、職員が中に入り1日の生活の中で活動場面をつくり楽しむ事は多かった
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	コロナ禍により外出が制限されており、外での活動は出来ていなかつた。	コロナ禍により困難であった。		コロナ禍により困難であった。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくことができている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	新型コロナウイルス蔓延防止の観点から対面での地域交流を行っていないが職員とは親しい関係性を築き安心して下さる面も感じている。帰宅願望が全くなくなった方もおられ、機能訓練により身体機能の維持または向上された方も居られる。	中には帰宅願望の激しい方もおられるが全体的にはご家族も安心して	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	・「コロナ禍で良く工夫していて感謝している。母の穏やか顔が安心して生活できていることが分かる。職員を信頼している表情をしている。全幅の信赖を置いている」等、ご家族様からのコメントはとてもありがたいものばかりであった。

外部評価のまとめ ①

- ・コロナ禍により致し方ないとい
う意見が多数あった項目→
 - ①事業所と地域の付き合い
 - ②日常的な外出支援
 - ③近隣や地域との交流
 - ④馴染みの人や場との関係継続の
支援
- ・個別ドライブ等は有難い。
 - ・コロナ収束後には外出を支援し
てほしい。

外部評価のまとめ ②

項目	評価
<ul style="list-style-type: none">・一人一人を支える多様化→・馴染みの人や場との関係継続の支援→	<ul style="list-style-type: none">・Zoom面会を取り入れた。・Zoomを活用した取組、本人の友人等からの手紙の返信代行や電話。
<ul style="list-style-type: none">・チームでつくる介護計画とモニタリング	<ul style="list-style-type: none">・本人の認知度に合わせた計画。・本人のニーズに沿った計画。・家族の意見も吸い上げてくれている。・細かい報告と提案があり安心できる。

外部評価のまとめ ③

項目

・地域資源との協働 →

評価

- ・ワクチン接種が迅速に実施でき、接種後の細かい観察をしてくれた。
- ・コロナ以外でも医療関係者との連携ができている。

・災害対策 →

- ・防災訓練等、できる範囲で実施している。
- ・地震後の速い安否報告に安心した。
- ・大雨台風時に2階への迅速な避難の判断ができていた。

外部評価のまとめ ④

項目

・役割、楽しみごとの支援 →

評価

・施設内での役割を頂いていることで社会と繋がっている。役に立っている張り合いと生きる力になっていると思う。

・コロナ禍で限られた楽しみの中、本人の興味を引出し、提供してくれて有難い。

・【コロナが収束したら】

☆外出レクの支援をお願いしたい

☆ドッグセラピーの訪問の再開希望

課題

- 1.コロナ禍とは言え、リスクを回避した上での外出支援やホーム内で、できるレクリエーションの工夫を凝らし、実施していく。
(ご家族様のニーズにコロナ収束の折の外出の希望が多かった)

- 2.ご家族様に初めて「外部評価員」として評価して頂いた結果、市町村との連携の内容が伝わりにくい点が判明した為、隨時 報告していく。